

解答

① 續
② 典
③ 省
④ 便
⑤ 易

① 預
② 快
③ 唱
④ 構
⑤ 音

三
問一
ア ○
イ ×
ウ ×

問二
その結

問三
エ
↓
カ
↓
ウ
↓
ア
↓
オ
↓
イ

問四 友情をもつ人々が困難を乗り越えるため、お互いに助け合う（という構図。）

問五 なさけはひとのためならず

問六 「野生の心」は、利他的に働けば集團の生産性を高めて協力集團を形成する一方、他の国の人々については、利己的な利益のみを追及する（ため、利害の対立が起こり、それに感情的な対立からむと、戦争を引き起こしてしまう。）

四

問一 柿の木

父の眼を気にすることなく母の近くで甘えることができるから。

少年と母が同じ病気になるのを避けるため。

問
四
ウ

問五
工

問六
ウ

母は死んでしまったのでもう二度と会えないという現実。

解説

一

①「実績」実際に現れた功績、または成績。②「典型的」その類の特徴をよく現しているさま。③「帰省」郷里に帰ること。④「便乗」たぐみに機会をとらえて、他の権威を利用すること。⑤「平易」やさしいこと。たやすく理解できること。

111

問四 血縁関係が薄い人同士の「友情」によって結びつく人間関係ということに着目して説明するとよい。

四

少年が柿の木から落ちて「あの世」に行こうとしたことから、母の死を実感できていないことをおさえること。